

## 中小企業信用保険法第2条第5項第5号（イ-③）の規定 による認定に係る売上高比較表（鳴門市指定様式）

（表1：売上高が減少している指定業種）

a. 売上高が減少している指定業種 （※1）	b. 最近3か月の前年同期の売上高	c. 最近3か月の売上高 （平成____年____月～ 平成____年____月）	d. 減少額
業	円	円	円
業	円	円	円
業	円	円	円
業	円	円	円
業	円	円	円
業	円	円	円
合 計	【B】 円	【A】 円	円

※1：認定申請書の表には、a. 欄に記載する指定業種（日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名）と同じ業種を記載。a. 欄には売上高が把握できている指定業種のための記載でも可。指定業種の売上高を合算して記載することも可。

（表2：全体の売上高）

最近3か月の前年同期の 全体の売上高	最近3か月の全体の売上 高（平成____年____月～ 平成____年____月）	減少額
【D】 円	【C】 円	円

(1) 前年の企業全体の売上高等に対する、指定業種に属する事業の売上高等の減少額等の割合

$$\frac{\text{【B】} \quad \text{円} - \text{【A】} \quad \text{円}}{\text{【D】} \quad \text{円}} \times 100 = \quad \%$$

（小数点第3位以下切り捨て）

(2) 企業全体の売上高等の減少率

$$\frac{\text{【D】} \quad \text{円} - \text{【C】} \quad \text{円}}{\text{【D】} \quad \text{円}} \times 100 = \quad \%$$

（小数点第3位以下切り捨て）

（注）認定申請にあたっては、表1に記載している指定業種に属する事業を営んでいることが疎明できる書類等（例えば、取り扱っている製品・サービス等を疎明できる書類、許認可証など）や、上記の売上高が分かる書類等（例えば、試算表や売上台帳など）の提出が必要。

上記売上高に相違ありません。

平成      年      月      日

申請者 住所

氏名

印